



## ◆9月のCP市場動向

9月末のCP市場残高は21兆2,916億円で前月比3兆5,476億円減少した。前年同月比では1兆2,897億円の減少となった。発行市場では、一般事業法人の期末に向けた有利子負債圧縮の影響等が見られたことから、期末にかけて残高が大幅に減少した。また、コロナ禍の影響で手元流動性を確保していた動きが後退したことから、前年同月比では5か月連続の減少となった。業種別残高では、その他金融が9兆8,410億円（前月比△1兆1,761億円）、一般事業法人が7兆4,233億円（同△2兆5,429億円）、金融機関は2兆2,471億円（同△1,350億円）とそれぞれ減少した。一方、ABCPは1兆7,802億円（前月比+3,064億円）と増加した。発行レートは、幅広いレンジでの出合い。コロナオペの残高は依然増加傾向にあり、担保目的等のCP引受需要は高いことから、マイナス圏での出合いが中心となった。特に希少銘柄等では深いマイナスでの出合いが見られた。一方で、大型の発行を行った銘柄では0%近辺の出合いも見られる結果となった。

## 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（A-1+格）0.000%割れ 一般事業法人（A-1格）0.000%割れ  
 その他金融銘柄（A-1格）0.000%割れ

## 【業態別残高内訳】

（単位：億円）

| 業 態    | 9月末残高   | 8月末残高   | 増 減     |
|--------|---------|---------|---------|
| 一般事業法人 | 74,233  | 99,662  | -25,429 |
| その他金融  | 98,410  | 110,171 | -11,761 |
| 金融機関   | 22,471  | 23,821  | -1,350  |
| 政府系金融  | 0       | 0       | +0      |
| 銀行等    | 2,739   | 4,264   | -1,525  |
| 証 券    | 19,732  | 19,557  | +175    |
| ABCP   | 17,802  | 14,738  | +3,064  |
| 計      | 212,916 | 248,392 | -35,476 |

（注：買入消却分含む）

## 【格付け別の発行レート】

| 格 付          | 1ヵ月               | 2ヵ月               | 3ヵ月               |
|--------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| a-1+（一般事業法人） | —— ～ 0.000%       | -0.060% ～ -0.049% | -0.071% ～ 0.000%  |
| a-1（一般事業法人）  | -0.070% ～ 0.000%  | -0.066% ～ -0.006% | -0.086% ～ -0.006% |
| a-1+（リース銘柄）  | -0.011% ～ -0.005% | -0.011% ～ 0.009%  | -0.010% ～ 0.009%  |
| a-1（リース銘柄）   | —— ～ ——           | —— ～ ——           | -0.088% ～ 0.001%  |
| a-2          | 0.008% ～ 0.180%   | -0.071% ～ ——      | -0.060% ～ -0.001% |

「CPオペ」

CP等買入れオペは、当初予定通り2回の合計1兆円で実施された。10日オファースの結果は、応札額9,995億円、按分レートは $\Delta 0.016\%$ 、27日オファースは、応札額8,164億円、按分レート $\Delta 0.022\%$ と各回とも前回比で低下した。応札倍率は10日オファースで約2倍となっており、ディーラーの買入れオペへの応札ニーズがやや上昇した結果となった。  
(月末オペ残高：3兆564億円)

【日銀CP等買入れオペ実績】

(単位：億円)

| 実施日   | 実行日   | オファー金額 | 応札額   | 落札額   | 按分・全取   | 平均落札    | 按分比率  |
|-------|-------|--------|-------|-------|---------|---------|-------|
| 9月10日 | 9月15日 | 5,000  | 9,995 | 4,992 | -0.016% | -0.013% | 68.5% |
| 9月27日 | 9月30日 | 5,000  | 8,164 | 4,984 | -0.022% | -0.017% | 5.3%  |

「ABCP」

ABCPは、1兆7,802億円と前月比3,064億円の増加、前年同月比では1,092億円の増加であった。

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、9月末時点における発行登録企業数は変わらず541社であった。

「CP現先市場」

現先(S/N)レートは運用ニーズ変わらず、マイナス $\sim 0\%$ 近辺での出会いとなっていた。

◆10月のCP市場動向

10月のCP発行市場は、四半期末に負債残高を調整した企業の発行再開が見込まれる。足許ではコロナ感染症の拡大が抑制傾向にあり、企業の予防的な資金調達ニーズは後退しているが、良好なCP発行環境は継続されており、需給に合わせてより柔軟な資金確保を行う企業が増加するものと思われる。月末発行残高は前年同月比を上回る残高での推移を予想する。発行レートは、幅広いレンジでの出会いが予想される。コロナオペへの担保需要等から、期越銘柄や希少銘柄等に対しては引き続きマイナス圏での出会いが予想される。

「CPオペ」

CP等買入れオペは、13日と26日でそれぞれ5,000億円のオファー予定となっている。事業法人による期明けの発行再開により一定の発行が行われると想定されることから、ディーラーの売却ニーズも増加が予想され、按分レートは横ばいから上昇基調を予想する。

「CP現先市場」

CP現先レートは、 $0\%$ 近辺での出会いを予想する。

\* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【9月末発行残高 上位10社】

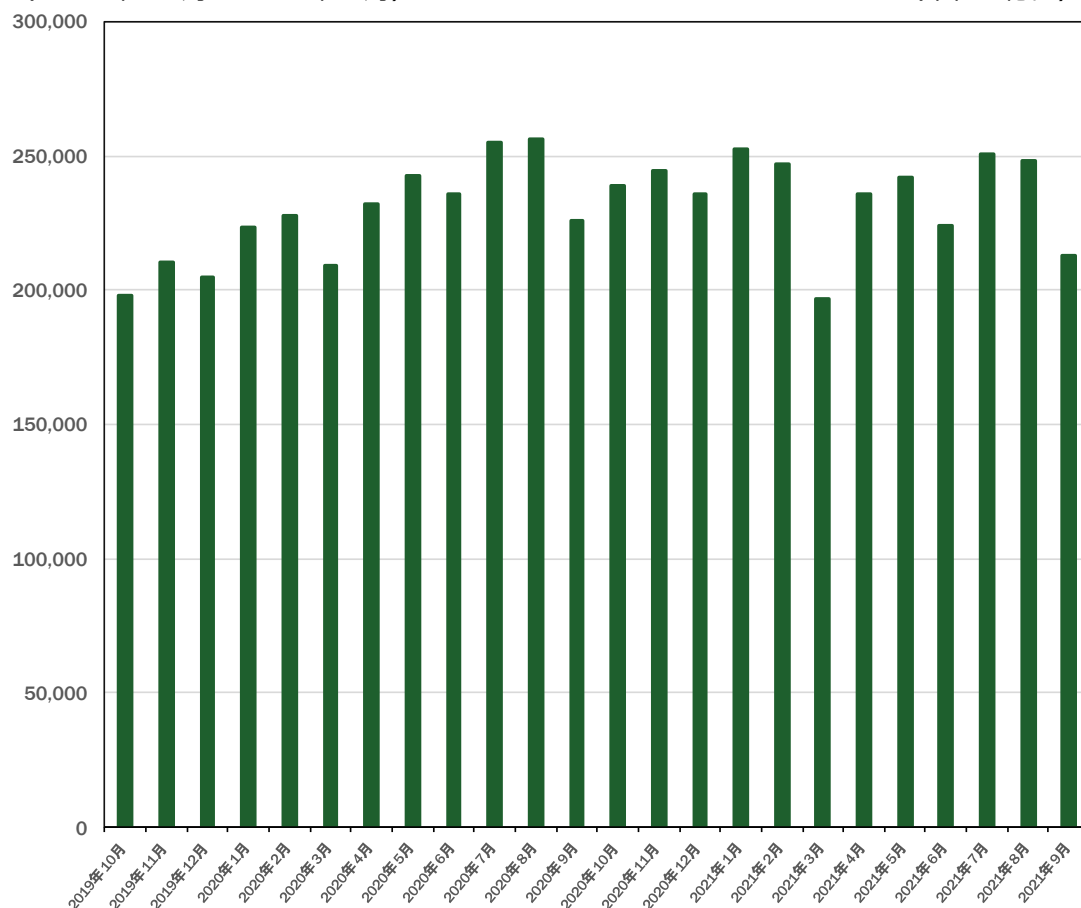
(単位：億円)

|    | 発行企業名                   | 9月末残高 | 8月末残高  |
|----|-------------------------|-------|--------|
| 1  | 三井住友ファイナンス&リース株式会社      | 9,538 | 9,768  |
| 2  | NTTファイナンス株式会社           | 8,800 | 15,070 |
| 3  | NTT・TCリース株式会社           | 7,900 | 8,180  |
| 4  | コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション | 7,512 | 6,785  |
| 5  | みずほリース株式会社              | 5,730 | 6,035  |
| 6  | 三菱HCキャピタル株式会社           | 5,442 | 5,605  |
| 7  | 関西電力株式会社                | 5,100 | 6,000  |
| 8  | 日本証券金融株式会社              | 4,910 | 5,024  |
| 9  | 株式会社クレディセゾン             | 4,910 | 4,950  |
| 10 | みずほ証券株式会社               | 4,905 | 4,505  |

【短期社債市場残高】

(2019年10月～2021年9月)

(単位：億円)



---

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

#### **上田八木短資株式会社**

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会